



えがお
『笑顔 かがやく 鴨川小』
かもがわしょう
かもがわ

上尾市立鴨川小学校
上尾市西宮下 4-400
電話 775 - 6562
HPは「上尾市立鴨川小学校」で 検索
発行責任者 校長 浅沼 正義
令和7年11月25日発行



「芸術の秋」に

校長 浅沼 正義

晩秋の時季ですが、寒さが厳しくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。前号で「読書の秋」と「芸術の秋」について、少しずつお話しましたが、今回は、「芸術の秋」に関するお話をしたいと思います。



私事で恐縮ですが、先日、上野にある美術館で開催されている「ゴッホ展」に行ってきました。オランダ生まれの画家フィンセント・ファン・ゴッホ、彼の描いた絵画の展覧会には4年前に同じ美術館で開かれたものに行ったことがあります。そのときは、ゴッホの人生を辿る構成であったため、彼の苦悩と葛藤、闘病、そして悲慘な末期に焦点が当てられたものであったと記憶しています。

今回の「ゴッホ展」には、オランダ アムステルダムにあるファン・ゴッホ美術館が所蔵する作品や書簡が展示されていました。ファン・ゴッホ美術館は、ゴッホの弟で、経済的、精神的に兄ゴッホを支援し続けたテオと、テオの妻ヨーが所有していたゴッホの作品や書簡、ゴッホとテオで収集した版画や浮世絵などをベースに設立された美術館です。

フィンセント・ファン・ゴッホは、他の画家たちに比べると、随分と遅い27歳で画家を志します。37歳で亡くなるまでの10年余りの間に、書簡（手紙）に描き込んだスケッチを含めると2000を超える作品を残しています。残念ながら、ゴッホの作品は、彼が活動している間には、世の中に認められることは、ほとんどありませんでした。唯一の理解者は画商であった弟のテオだけでした。テオは兄の才能が認められる時が来ると考え、その作品を大切に保管しました。

しかし、テオも兄フィンセントが亡くなった半年後に後を追うように亡くなってしまいました。フィンセントの作品は、テオの妻ヨーに引き継がれました。「幼い子供を養っていくため」と展示物の中に注釈はありましたが、ヨーは、フィンセントの作品をいろいろな画商たちと粘り強く交渉を重ねながら売却していききました。また、ゴッホの作品を多くの人に見てもらうために、展覧会を催しました。さらに、ヨーが、フィンセントとテオがやり取りした手紙を書簡集として公表したことがきっかけとなり、フィンセントの苦悩や葛藤と、その情熱的な色彩やタッチで描かれた作品が世の注目を集めることになるのです。テオが兄を支援していなければ、フィンセントとテオが親密に手紙をやり取りしていなければ、テオやヨーが手紙を大切に保管していなければ、フィンセント・ファン・ゴッホの才能が日の目を見ることはなかったでしょう。

ヨーの没後、ゴッホの作品は、テオとヨーの子供であるフィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホへと受け継がれ、ウィレムがファン・ゴッホ財団を立ち上げ、前述のファン・ゴッホ美術館が設立されることとなります。

今回の「ゴッホ展」は、「フィンセントの夢が家族の手によってつながれ、結実する」家族の絆の大切さを再考させられる展覧会でした。

12月の行事予定

1	月	授業参観・懇談会(456年のぞみひかり・5校時)
2	火	授業参観・懇談会(123年・5校時)
3	水	ガンバリタイム
4	木	交通安全教室 代表委員会 学校応援団(図書室環境整備)
5	金	表彰集会(1) 口座振替日
6	土	
7	日	
8	月	のぞみ・ひかり学級小中交流会(大谷中)
9	火	表彰集会(2) さわやか相談室
10	水	ガンバリタイム
11	木	新 ICT 端末納入 異学年交流会1・6年
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	スクールカウンセラー来校 上尾市学力調査(2~6年)
17	水	
18	木	委員会活動
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	通常日課4時間 給食終了日
23	火	1・2年特別日課3時間 3~6年特別日課4時間
24	水	2学期終業式 3時間授業
25	木	冬季休業日
26	金	冬季休業日
27	土	冬季休業日
28	日	冬季休業日
29	月	冬季休業日 学校閉庁
30	火	冬季休業日 学校閉庁
31	火	冬季休業日 学校閉庁

冬季休業日は1月7日(水)までです。1月8日(木)は第3学期始業式となります。

1月の主な行事予定

8日(木)3学期始業式 3時間授業

9日(木)特別日課4時間授業 給食開始
競書会3・4年

13日(火)身体測定(1・2年)競書会(5・6年)

14日(水)身体測定(3・4年) ガンバリタイム

15日(木)身体測定(5・6年)

クラブ(3年生クラブ見学)

20日(火)避難訓練(竜巻)

22日(木)通学班交流

26日(月)校内書きぞめ展放課後公開 30日まで

29日(木)委員会

30日(金)新入学児童保護者説明会 代表委員会

児童の登下校について

地域の見守りボランティアの皆様やかままるサポーターの方を中心に安全支援者会議が行われました。そこで、出された登下校についての課題を学校だよりで紹介いたします。ご覧いただき、ぜひ登下校へのご協力をお願い申し上げます。

【現状の危険要因等】

- ・朝の通勤時間帯に、児童の通学路で交通事故が何件か発生している。
- ・道路の開発等により、自動車等の交通の流れが変わる可能性がある。
- ・自転車と歩行者の接触事故等が市内でも多く発生している。

【見守りボランティア、登校支援の状況】

- ・地域の見守りボランティアの皆様の高齢化及び仕事の定年引上げによる、ボランティアの減少。
- ・地区によっては、見守りボランティアの活動継続が来年度からは難しい地区もある。
- ・ご家庭においても、共働き家庭の増加及び、児童の登校時間にすでに出勤してしまっている等、朝協力できる時間がない。

【今後の見通し及びお願い】

- ・登校支援旗当番への協力者を増やしていくこと。
- ・旗当番への参加が難しい場合には、通学班の集合場所への見送りの際に、付近の危険な箇所まで、ついて行っていただく等のご協力をいただく。
- ・今後、自治会の方へ見守りボランティアの募集についてご協力をお願いをしていく。
- ・旗当番が立つ場所の精選や、危険個所の地図等での保護者や地域への周知を行うこと。
- ・学校応援団活動の見直しを図り、その分登校支援に、より注力いただける方法を検討すること。